

2018年9月18日

アウディ ジャパン株式会社
プレスサイト <http://www.audi-press.jp/>

お客様問い合わせ 0120 - 598 - 106
アウディ コミュニケーションセンター

(欧州発表資料)

ファン トゥ ドライブを実現した電気自動車：The Audi e-tron

- アウディブランド初の量産エレクトリックモデル
- 広い室内と長い航続距離は、優れた使い勝手を実現
- パーチャルエクステリアミラーをオプションとして用意

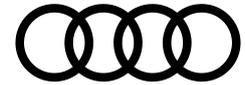
アウディは、ブランド初の量産電気自動車、Audi e-tron を発表します。このフルサイズ SUV は、スポーツ性と日常ユースにおける実用性の両方を兼ね備えています。2 基の電気モーターと電動 4 輪駆動システムによって、素晴らしいパフォーマンスと俊敏なハンドリングを提供します。さらに、高電圧バッテリーを搭載することにより、WLTP ドライビングサイクルにおいて 400km 以上の航続距離を実現しています。自宅及び移動先における幅広い充電方法の選択肢が用意され、オーナーは一切妥協することなしに電気自動車による走行を楽しむことができます。

Audi e-tron は、スポーツ走行も、家族連れのレジャーも楽しむこともできる電動 SUV です。全長は 4,901mm、全幅は 1,935mm、全高は 1,616mm で、アウディ ブランドのフルサイズモデルにふさわしい広々としたスペースと高い快適性を提供します。Audi e-tron は、2,928mm の長いホイールベースにより、乗員 5 人とその荷物を積載することのできる余裕のスペースを備えています。ラゲージ容量は 660ℓ で、長距離ドライブにも対応可能です。

あらゆる地形で力強い性能を発揮：駆動システム&ダイナミックハンドリングシステム

優れた効率、パフォーマンス、そして静粛性。Audi e-tron は、新しい時代のドライビング体験を提供します。2 基の電気モーターが、ゼロエミッションの電動 SUV を力強く、そして静かに加速させます。システム出力（ブーストモード時）は最大 300kW、トルクは 664Nm に達します。駆動トルクは一瞬で最大値に到達し、力強くクルマを押し進めます。Audi e-tron は、0~100km/h に 5.7 秒で達し、最高速度は電子制御リミッターにより 200km/h に制限されています。

新しい quattro 世代の幕開けとなる電動 4 輪駆動システムは、あらゆる地形と天候状況で優れたトラクションとハンドリングを提供します。このシステムは、2 つのアクスル間で駆動トルクの配分を理想的かつ連続的に可変制御します。その作動は、瞬時に行われます。ほとんどのケースでは、最高の効率を達成するために、主にリヤに搭載された電気モーターを使用します。ドライバーが、供給可能なパワーよりも多くの駆動力を要求した場合、この電動 4 輪駆動システムは、必要に応じてフロントアクスルにトルクを伝えます。これは、滑りやすい路面や高速コーナリング中にスリップが発生する前、あるいは車両がアンダーステアまたはオーバーステアの状態になる前に、制御は予測的に行われます。Audi e-tron は、雪上などの摩擦係数が低い路面で、特に優れた動的性能を発揮します。



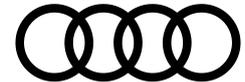
このスポーティな性格と卓越したコーナリング性能は、駆動コンポーネントが車両中央の低い位置に搭載されていることが大きく貢献しています。バッテリーシステムは、Audi e-tron のボディサイズに合わせて最適化されており、前後アクスル間のキャビンのフロア下に、フラットで広いブロック形式で配置されています。これによって、セダンと同等の重心高を実現しています。前後重量配分は、理想的な 50:50 です。

アウディ ドライブセレクトを使用すると、ドライバーは、Audi e-tronの走行特性を、運転状況、路面状況、個人的な好みに応じて、7種類のプロファイルから選択して変化させることができます。このシステムは、標準装備される自動車高調整機能付きアダプティブ エアサスペンションの設定にも影響を及ぼします。その結果、スムーズで快適な乗り心地から、スポーティで安定したハンドリングまで、幅広く車両の特性を変化させることが可能になりました。エアスプリングは、速度及びドライバーの好みに応じて、路面の状態に合わせて個別に調整され、車高を最大で76mm 変化させることができます。特に長距離ドライブでは、車高を低下させることによって空力が改善し、航続距離を延ばすことができます。

高効率：回生、空力、サーマルマネージメント

Audi e-tron は、WLTP ドライビングサイクルにおいて、1 回の充電で 400km 以上を走行することができます。この優れた航続距離は、主に革新的な回生システムによるもので、回生されたエネルギーによる航続距離への貢献は最大 30%に達しています。この電動 SUV は、ドライバーがアクセルペダルから足を離れたコースティング時、及びブレーキペダルを踏んだ制動時の 2 種類の方法で回生を行います。いずれの場合も、電気モーターはジェネレーターとして機能し、運動エネルギーを電気エネルギーへと変換します。最大 0.3G までの減速では、電気モーターのみで回生を行います。これは、制動ケース全体の 90%以上にあたります。通常のホイールブレーキは、ドライバーがブレーキペダルを踏んで、0.3G を超える減速が発生したときのみ使用します。これらの作動は、新しい電気油圧式アクチュエーターコンセプトにより、極めて迅速に行われます。アウディは、このようなコンセプトを量産電気自動車に採用した世界初の自動車メーカーです。例えば、100km/h から制動する場合、Audi e-tron は最大 300Nm、220kW の電力を回生することができます。これは、作動エネルギー入力の 70%以上に相当します。これほどの高い効率を備えた量産車は、他に存在しません。電気油圧式統合ブレーキ制御システムは、運転状況に応じて、電気モーターを使用するのか、ホイールブレーキを使用するのか、あるいは各アクスルで個別に両方を組み合わせて回生するのかを即座に判断します。電気と油圧ブレーキ間の移行は総和量は不変のままにスムーズに行われるため、ドライバーが気づくことはありません。制動力も一定に保たれます。

Audi e-tron の優れた効率に貢献しているもう一つの重要な要素は、洗練された空力（エアロダイナミクス）です。このコンセプトの一つのハイライトは、オプション設定されているバーチャルエクステリアミラーです。左右に伸びる支柱の先には、小さなカメラが組み込まれています。カメラの画像は、車内の高コントラスト OLED（有機 EL）ディスプレイに表示されます。その他の空力対策としては、エアサスペンション、高電圧バッテリーを保護するためにアンダーボディ全体を覆うアルミニウムプレートなど、目に見えない部分にも施されています。これらの対策や、調整式冷却エアインテークによって、空気抵抗係数を減少させています。フロントブレーキの冷却経路を含むこのインテークは、標準装備されるヒートポンプとともに、高度なサーマルマネージメントシステムの切り替えポイントとして機能します。モーターやバッテリーの温度を適切に保つサーマルマネージメントシステムのメリットとしては、高負荷時や急速充電を繰り返した場



合でも優れた性能を維持し、バッテリー寿命を延長できる点にあります。Audi e-tron の空気抵抗係数 (Cd 値) は、バーチャルエクステリアミラー装着車の場合、SUV セグメントの最高値となる 0.27 を達成しています。従来の内燃エンジン搭載車と比較した場合、この優れた空気抵抗係数によって、1 回の充電あたり約 40km 航続距離を延長する効果があります。

自宅及び移動先におけるインテリジェントなソリューション：充電コンセプト

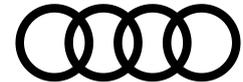
Audi e-tron は、最大 95kWh のエネルギー容量を備える高電圧バッテリーによって、長距離ドライブにも対応します。日常的な走行では、移動先で充電ステーションに立ち寄る必要はありません。休暇中に長距離ドライブに出かける場合、市販車としては初めて、最大 150kW の直流 (DC) 充電器で急速充電することができます。これによって、約 30 分で次の目的地に出発することができます。この電動 SUV は、最大 11kW の交流 (AC) で充電することもできます。オプションで、22kW の充電にも対応しています。Audi e-tron のオーナーは、アウディ独自の充電サービスにより、ヨーロッパの公共充電スタンドの約 80%において、簡単な手順で充電することが可能です。アウディの充電サービスに対応したカードさえあれば、それが AC 充電、DC 充電、出力 11kW あるいは 150kW であれ、すぐに充電を開始することができます。2019 年以降は、プラグ&チャージ機能によって、充電手順はさらに便利なものになります。充電ステーションに停めるだけで、クルマが自動的に認証されて充電器が起動します。

アウディは、自宅で充電するための様々な方法を提供しています。標準のモバイル充電システムは、230V の家庭用コンセントまたは 400V の 3 相コンセントのいずれかで使用できます。オプションの“コネクト”充電システムを使用すると、充電出力を 2 倍の 22kW にすることができます。家庭のエネルギー管理システムと組み合わせることにより、電気料金が安い時間帯に充電したり、自宅に太陽光発電システムが設置されている場合は太陽光で充電するなど、インテリジェントな機能を提供します。アウディのオーナーは、myAudi アプリを使用することにより、スマートフォン経由で、充電プロセスやエアコンディショナー（プレヒーティング等）を制御することができます。

電動化を視覚化：エクステリア及びインテリア

Audi e-tronは、アウディのデザインDNAを完全に受け継ぎながら、新しいデザインエレメントを定義することによって、電動化世代へと進化させています。典型的なアウディのSUVモデルの1台として、Audi e-tronは、垂直のストラットを備えた八角形デザインのシングルフレームグリルを備えています。シングルフレームグリルには、このクルマが電気自動車であることを示す、プラチナグレーのフレームが装着されています。マトリクスLEDヘッドライトの下端には、デイトタイムランニングライトとして機能する4本の水平ストラットが設置され、e-tronならではのライトシグネチャーを生み出します。今回初めて、この機能が直接ヘッドライトに組み込まれています。ブラックインサートを採用したシルエリアの表現力豊かなデザインは、Audi e-tronのエネルギー源であるバッテリーの位置を視覚的に表現しています。リヤを見ると、ワイドなディフューザーの左右には、エキゾーストパイプの代わりにストラットが設置されています。充電フラップのe-tronロゴ及びオプションのブレーキキャリパーには、高電圧を象徴するオレンジ色が採用されています。

このようなカラフルなアクセントは、広々としたインテリアにも採用され、パフォーマンス、インテリジェンス、軽快感を表現しています。大きな弧を描くダッシュボードは、インテリア全体を包み込むように、オプションのバーチャルエクステリアミラーから彫刻的な造形のドアトリム



へと達し、デジタル化に対するアプローチをまったく新しいレベルへと引き上げています。センタートンネルコンソールの両サイドは、オープン構造になっています。ドライバーは、宙に浮いているように見えるこのコンソールに手を乗せて、一体化されたシフトスイッチを親指と人差し指で操作することができます。ここでは、軽快な操作感と機能性が見事に融合しています。

運転席は、ドライバー中心にレイアウトされており、2つの大型 MMI タッチレスポンス ディスプレイも、ドライバーに向けて設置されています。従来のほぼすべてのスイッチ類は、これらのディスプレイに置き換えられています。多くの機能は、日常会話にも対応するボイスコントロールシステムによって操作することもできます。標準装備されるアウディ バーチャルコックピットは、必要なすべての情報をシャープで高解像度なグラフィックで表示します。ドライバーは、ディスプレイの表示方法を2種類のビューから選択することができます。オプションのアウディ バーチャルコックピットプラスを装備すると、電気駆動システムに焦点を当てた3番目のビューを選択することもできます。Audi e-tron は、高品質な素材と卓越したクラフトマンシップを組み合わせることにより生み出される包括的な快適性によって、e モビリティをさらにプレミアムな体験へと引き上げています。

最高レベルのコネクティビティ：インフォテイメント及びアシスタンスシステム

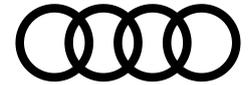
ドイツ市場において、Audi e-tron には、LTE-Advanced (LTE アドバンスド) 規格に対応し、Wi-Fi ホットスポット機能を備えたハイエンドメディアセンターの MMI ナビゲーションプラスが標準装備されます。ナビゲーションシステムは、e-tron ルートプランナーによる理想的なサポートを受けながら、以前に走行したルートに基づいてインテリジェントに目的地を提案します。この機能によって、必要な充電ステーションを含む、適切なルートが表示されます。ナビゲーションシステムは、バッテリーの充電状態に加えて交通情報も考慮し、充電時間も含めた到着時間の推定を行います。

標準装備される効率アシストを含め、数多くのアシスタントシステムが、ドライブをさらにリラックスしたものになります。アウディ バーチャルコックピットに表示される走行に関する予測的なヒントと自動回生機能が、経済的な走行を支援します。システムは、レーダーセンサー、カメラ画像、ナビゲーションデータ及び Car-to-X 情報を活用し、交通環境とルートの状況を検出します。効率アシストは、アダプティブクルーズアシストと組み合わせることによって、クルマを予測的に減速及び加速させることもできます。アシスタンスシステムの基盤となっているのが、車両周囲の正確な環境モデルを継続的に算出するセントラルドライバーアシスタンスコントローラーです。必要なデータは、選択されたオプションに応じて、最大5基のレーダーセンサー、6台のカメラ、12個の超音波センサー、1基のレーザーสキャナーから取得します。

Audi e-tron は、オーナーが特定の機能を必要に応じてオンラインで追加できるようにしたブランド初のモデルです。この機能は、欧州では2019年の中頃から利用可能になります。例えば、LED ヘッドライトは、インテリジェントにハイビームを制御するマトリクス LED ヘッドライトにアップグレードすることができます。また、DAB+デジタルラジオやアウディ スマートフォンインターフェイスといったシステムやインフォテイメント機能を追加することができます。

欧州でのデリバリー開始は2018年末

Audi e-tron は、ブリュッセルのCO₂ニュートラルな工場生産されます。ヨーロッパのオーナーへの最初の納車は、2018年後半に予定されています。ドイツにおけるベース価格は、7万9,900



ユーロです。特定の市場では、すでにクルマを予約しているオーナーを対象として、専用のデザインエレメントと広範囲な装備パッケージを特徴とする 2,600 台の限定モデル、“Audi e-tron edition one”を選択することが可能です。

※本リリースは、AUDI AG 配信資料の翻訳版です。